

検家

東久留米で戸建て4棟竣工

太陽パネル装備の南欧仕立て

検家ランデックス（東京都台東区、日置文彦社長）は、東京都東久留米市内に昨春発売の戸建賃貸「プライムアセット」シリーズの新品「シエロ」「アルル」「エポカ」を含む4棟を竣工した。

複数商品を1つの土地に建設したのは初めて。

「シエロ」は太陽光パネルを標準装備したシックでナチュラルな木目調のデザイン。「アルル」

は南欧仕立てで、「エポカ」は日本の多様な街並

みになじむつくりとなっている。

西武新宿線小平駅から徒歩18分と不利な立地だが、1棟当たり2〜4台

の駐車スペースを確保した。物件はすべて木造2階建ての3LDK。土地全体で630平方尺。

もとは駐車場だったが誰にも貸しておらず、空き地同然だったことから賃貸住宅による土地活用に切り替えた。当初は6棟での提案だったが、東久留米市では5棟以上の物件を同一地に建てる場合、宅地開発条例に触れるためテラスハウス2棟を含む4棟6戸の形とした。家賃は6戸分で総額が81万7000円。表面利回りは13・4%で回収期間は約7・5年となっている。

